



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now

Vol.178

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2023.1



新年のご挨拶 理事長・院長 石井 洋光

理事長・院長
いしい ひろみつ
石井 洋光

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、爽やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

2020年1月に国内初の新型コロナウイルス感染者が確認されてから、3年もの月日が経ちました。この間、緊急事態宣言が繰り返し発令され、我々医療・介護機関は政府、兵庫県、保健所、医師会等と連携しながら未曾有の危機に対応すべく様々な困難に立ち向かってい

ます。
2022年年末においても更なる感染拡大が予想されることから、兵庫県は12月28日より、季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する医療体制を、約5,000人/日の「感染拡大期」から約9,000人/日以上と想定した「流行期」に移行することを発表しました。

このウイズコロナ時代、ワクチン・治療薬の開発・普及、重症者への治療法の確立が進み、徐々にではありますが、コロナと共存できる社会が確立されつつあります。

一方、団塊の世代がすべて75歳以上の後期高齢者になる「2025年問題」が目前に迫って参りました。日本人の4人に1人が後期高齢者となる反面、労働人口は減り続け、医療・介護の現場では深刻なマンパワー不足となります。端的に言えば、若者は減少し、高齢者は激増。少ない若者で多くの高齢者を支える社会構造が加速するため、医療費や年金の財源の逼迫、社会を支える労働力の減少による経済力の低迷など、さまざまな影響が懸念されています。

こうした様々な課題が見える中で、近隣の皆さまが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていく“地域包括ケアシステム”の構築に「在宅医療・介護」が高齢者を中心に拡大、展開されていることはご存じの通りであります。患者さまのご家族にも協力をいただきながら、医師、訪問看護師、訪問リハビリ担当者、ケアマネジャー等が連携して治療やケアを行い、より発展させていかなければなりません。

最後になりましたが、この新しい年がウイズコロナを経てアフターコロナへと進む希望の年となりますよう、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。どうぞ本年もご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

石井病院 健康情報 冬場に危険な事故に注意！

1月には、お餅を喉に詰まらせる「窒息事故」が多く発生します。

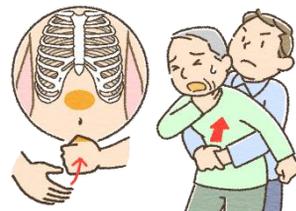
喉には、口から胃に繋がる「食道」と肺に繋がる「気管」の2つが存在しており、気管にものが詰まった時に呼吸困難に陥ります。高齢者になると、咳き込み吐き出す「咳反射」という機能が衰えるため、気管にものが詰まったままになり最悪の場合死に至る可能性もあります。

窒息を防ぐためには、調理の際になるべく小さくカットし、よく噛んでから飲み込むようにしましょう。

もし詰まった場合は、水を飲ませるのは危険です。窒息している人の身体を前傾にして顎を支え、背中の肩甲骨と肩甲骨の間を餅を吐き出すまで手の付け根で強く叩き続けます。それでも吐き出さない場合は、後ろから抱きかかえ、みぞおちとヘソの間を握り拳で押さえ 上向きに5回突き上げるようにしてください。



<背中叩打法>



<腹部突き上げ法>





人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

新年のご挨拶 院長 福士 剛彦

明けましておめでとうございます。

皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また昨年中、当クリニックに賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の蔓延に日本中が翻弄された1年でした。当クリニックもその荒波に巻き込まれ喘ぎ苦しむ日々でしたが、しかしながら当院ではその戦いに逃げることなく全職員が身を粉にして正面から立ち向かい、『全ては病める患者さんのために』を日々当たり前に実践して参りました。幸いなことにクラスターの発生もなく無事こうして新年までたどり着けたことに、その先頭に立つ者としては安堵の気持ちであります。

しかしこれで終わりではありません。未来永劫、じんけいクリニックに立ち止まることは許されず、現状維持は後退、常に進化し続けねばならない宿命にあります。このコロナとの戦いに勝利しいつの日か全職員で祝杯をあげられる日を夢見て、本年も慢心することなく、更なる直向きな努力、飽くなき挑戦、を続けていく所存です。

当院に関わる全ての方々からの変わらぬご指導ご鞭撻を本年も賜りますよう、宜しくお願い致します。



人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック

院長

ふくし よしひこ
福士 剛彦



人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

新年のご挨拶 事務長代行 原 真一郎

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスとの闘いも丸3年を経過し、現在も第8波の真ただ中で猛威をふるっております。

コロナ対策として、しっかりと換気を行っており、患者様には、少し寒い思いをしていただいておりますが、ご理解いただき大変感謝しております。職員一同これからも、患者様に信頼されるよう、心から患者様の事を考え、そして一人ひとりができる力を出し切ることで、より一層安心できる医療を提供してまいります。

これからも、患者様には、明日も明後日も笑顔で来院していただき、笑顔で帰っていただけるよう寄り添い支えていきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



仁恵会本部事務長代行
兼 人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック
事務長代行

はら しんいちろう
原 真一郎

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>